

150のHistory

1945(昭和20)年～1949(昭和24)年

戦時下の當麻地区

アジア・太平洋戦争も末期になると、當麻地区からもたくさんの方が出征し、たくさんの方が亡くなりました。

當麻町史によると、「當麻」で34名、「勝根」で12名、「今在家」で11名、「染野」で13名、「新在家」で11名、「加守」で29名、合計110名の方が亡くなっています。

また、葛城市でもアメリカ軍により空襲の被害を受けています。次のような記録が残っています。

1945年の夏休みに入ったところに、警戒警報が鳴ったのです。それからすぐに「空襲警報、敵機来襲!」その言葉と同時に、二上山から艦載機が現れ、高田市に向かって、それから磐城の方へ向かい、そのあと大阪湾に行くのがコースになっていました。

長尾神社の東に鳥居がありますね。あの辺まで電車が来たんです。飛行機が低く下りて、ダダダダダッーと撃ったら、電車の人たちはクモの子を散らしたようにワッーと降りはったんです。

私の父らは、雨戸をはずしてそこに毛布を敷いて、怪我をした人を乗せて高田まで担いで走って行きました。14、5歳の男の人でした、出血がひどく「水! 水! 水!」とおっしゃってたけど、みんなで「病院へ行くまで、病院へ行くまで」ってはげましながら担ぎ込んだそうです。そしたら、お医者さんが「もう、この人は助からない。一番欲しいのは水だ。あげなさい。」とおっしゃったのです。水をいただかれた後に男の方が亡くなられて、みんな悲しみながら村へ連れ帰ったそうです。(新在家・1933年生まれ)

今年は當麻小学校創立150年であるのと同時に、戦後80年になります。今一度、平和について考える機会にしたいと思っています。



体育館の南側に建つ「英霊碑」には、戦争で亡くなった方のお名前が刻まれています。

戦後の教育改革

1945年8月15日 終戦

1947年4月1日 学制改革の実施

當麻国民学校から、

當麻小学校と當麻中学校に分離。

1947年5月3日 日本国憲法発布

1949年4月

當麻村・磐城村両村組合立

白鳳中学校設立

*加守の生徒は香芝中学校に通う